

平成 30 年度の主な行事

酪農試公開デー

平成 30 年 8 月 1 日に、第 14 回目の公開デーを開催し、507 名の方がご来場されました。イベントでは、牛と触れ合う企画（哺乳・搾乳体験）、ラムネづくりや羊毛でのマスコットづくりなどに加え、迷路やぬりえコーナー等、どの企画も盛況でした。また、バスツアーでは、搾乳・えさ給与等の牛舎内作業の見学や試験のためのデータ収集と酪農家の仕事との関わりについて紹介し、試験場の役割について理解を深めていただきました。

今年も「さけます・内水面水産試験場道東支場」と共催し、サケマスのパネル展示やおさかな触れあいコーナーも設置され、子供たちは大喜びでした。

また、近隣の農業高校や JA、工房などによる乳製品や野菜・お菓子などの展示即売会も開きました。こちらも大盛況でした。

第 31 回酪農フォーラム

平成 30 年 11 月 14 日に酪農試において、「酪農・畜産における農業生産工程管理（GAP）を考える」というテーマで、第 31 回酪農フォーラムを開催いたしました。道畜産振興課の盛主査による基調講演「畜産 GAP と北海道農政における取り組み」に続き、北海道大学の近藤誠司名誉教授から「酪農における家畜福祉を考える」、（株）Kalm 角山の川口谷仁専務取締役（現 代表取締役）から「酪農初の JGAP 認証取得-経営戦略上の意義-」という演題でご講演いただきました。ご来場の皆様から、多くの質問があり、GAP に対する理解を深めました。



酪農試公開デー（搾乳体験）



酪農試公開デー（ラムネづくり）



酪農フォーラム（主催者挨拶 酪農試場長）